



思いのポイントをねらいます

初夏の風物誌

アユ漁解禁

一曰、釣人の仕事のア「漁業が川」、酒も、競つて釣の事を垂れていよ。

句曰、解禁された事だ。

「六〇年は天候にもより、町の便りつゝだ。釣物を釣りて、頭をほころばせる。今は天候にもより、町には十ヤセ(十石)の人が多い。」

東京などから来た人を含め、早川には約三十人、西川には約五十人の太公人が集まっています。それぞれ好んで場所を争ひ合ひました。

これが裏に向つてア「舟音が川」といふ事で、夜明け前の解禁の日と

もに、競つて釣り糸を垂れていました。
今年は天候にも恵まれ、型の良いアコガ
が釣れているようで、中には一セントチ
近い大物を釣り上げ、顔をほころばせる
人の姿も見受けられました。
これから夏に向かってアコガ育ち、ま
すます釣りが楽めることでしょう。

暑い日ざしの中

山王川・久野川清掃が

「JGは天気も悪く、参加者は少ないになつたから、川底や土手の草を刈つたが、投げ捨ててしまつた。や生を拾い集めていました。作業をする人々の顔には、自分たちが川の美しさを守つていいのだといふ決意がうかがえました。



川底の草を刈ると一月が少しは



今年は大きな梅の実が

21・22日
梅干し用
生梅の即売会

第9回 サラシコンサート

